

# 七友会 だより



## 退職雑感

国際文化課程 杉浦 直

いよいよ今年の3月で退職することになったらしい。「らしい」と書いたのは、年度末までもう2か月あまりとなった今（この原稿は1月末に書いている）でも、あまり実感がないからである。思えば昨年はかなり忙しく、研究者人生後半の主フィールドとしているアメリカに3回出かけ、年末年始はどうにか完稿した著書の校正で完全につづれた。これでは、他の先生方のように、これまでの越し方を反省し今後の展望に思いをはせるといった高級な思考は生まれようがない。もっとも、一介の大学教員の退職、特に誰が注目するわけでもないの、あまり大仰なことは考えないに限ると生来の不精を決め込み、最終講義なるものも特に用意していない。とはいえ、この原稿を頼まれたのが一つの機縁、どう内容になるか分からないが筆のままに一応懐古懐旧の辞を述べてみよう。

岩手大学に赴任したのは昭和53年、人社創設の2年目の年である。赴任の挨拶と居所の確保のため3月に最初に訪れたときのことはよく覚えている。今は学生センター棟と言っている当時ほとんどスラムの人社本館の薄暗い2階で、後には学部長となる小池先生や鬼沢先生とお会いした。「当時はまだ若々しかった」と形容したいところだが、小池先生などは退職真近かな温厚な老紳士とお見受けしたのを覚えている。実際には、その後20年も同じ部署で一緒に、お世話になるのであるが、鬼沢先生は何やらちょっと妖怪めいた雰囲気の方で、その独特の貴禄は晩年ますます磨きがかかっていった。このお二人とも今は故人となり、時が過ぎたことをいやおうでも実感する。

創設当初の人社はまさに発展途上で、まだ整わない面も多々あったが、やはり拡大していくときの活気、熱気が充満していたように思う。新しいものを創り上げていく時期は、その最中になるとしんどいことも多いが、後から思い返してみるとやはり代え難い体験であった。

しかし、この学部創建・充実に私自身どこまで貢献できたかとなると心許ない。もともとあまり教職者という意識がなく、好きな研究ができるということを最優先していた当時の私がよい授業をしていたとはとても思えない。前任校での講座の助手という立場、言わば組織の雑用係りから離れて独立した教員となり、いくつもの授業を組み立て実践しなければならなくなって、途方にくれたのを覚えている。多少とも満足な授業をできるようになったと感じたのはかなり後になってからであり、その意味で忸怩たる思いは残る。

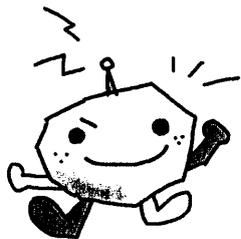
しかし、自分の研究という面では恵まれていたと思っている。岩手大学は、私のようなタイプの研究者に絶好の環境を与えてくれたと言ってよい。私の研究は、自分の興味に基づくフィールドワーク中心の個人研究で、何より自由がありがたい。多少の予算があれば、後は使える時間が最重要、当時先輩の先生方に恵まれていた私は頻りに調査旅行に出かけることができた。もっとも研究テーマは途中で大きく変わった。最初は前任校から引き続く農村民家研究であったが、後半はすっかりアメリカの移民研究になった。ほかの人には、ずいぶん脈絡なくテーマを変えたものだと思っただけにちがいない。「民家」と「移民」、「民」の字がついていることは共通しているので、私自身としては「民家研究」として一貫しているつもりではあるが。

さて、アメリカの移民研究のためには海外へ調査旅行に行かなければならない。この点でも私は恵まれていた。いくつかのファンドに当たったこともさることながら、何より長期の出張を先輩・同僚諸氏が快く承諾され、送りだしてくれたことが大きい。結局、3か月以上の長期出張が5回、短いものを含めると総計40回アメリカを中心にパスポートを使用したことになる。退職を控えた2009年も半年サバティカルをいただいてアメリカに滞在したが、補ってくださったコースの同僚の先生方の寛大さには感謝の言葉もない。もっとも回数が多いからといって十分な成果を上げたということではない。まだまだやり足りないと感じている部分は多いし、新たにやりたいテーマや場所も沢山残っている。何より研究の質という点で世に問うほどのものが出来たのかどうか、今になってみるとあれもこれもと反省すべき点ばかり思いつく。

ご存知かと思うが、人社は2000年度に大きく教育課程を改組した。私は地域文化基礎研究講座から新設の文化システムコースへと所属・担当を変えたが、この2つのセクションは学部のなかでの構造的位置がよく似ているので、私としては大きく転向したという気持ちはない。新しいコースは、さらに学際的になり、討論型の授業である「文化論コロキウム」など新しい試みにも挑戦してきた。教員人生の最後に、また新しいものを創るという喜びに出会えたことをしみじみ感謝している。退職は一つの区切りで、4月からは新しい生活のリズムを作っていかなければならないが、どうもずるずるとこれまでやり残したことの後始末に追われそうである。どうもしまりのない「退職の辞」であるが、不精な教員の怠惰な挨拶とご寛恕願いたい。

### 目次

退職雑感	1
設立30周年 記念事業開催	2~3
七友会設立30周年 記念参加申込書	4
会員の皆さん、連絡先 をお知らせ下さい	4
大学短信	4
訂正	4
「就職ガイダンス」 開催される	4



Uwate University  
岩手大学

## 設立30周年記念事業開催

# 7月2日(土)盛岡で逢いましょう!

七友会は、今年設立30周年を迎えました。そこで、7月2日(土)に次のような要項で記念事業を開催いたします。まだまだ歴史の浅い同窓会ですが、この30年間に大学内も学部内の構成やカリキュラムも、そして、盛岡の街も大きく変わりました。「う～ん、懐かしい先生はご健在か? アイツはどうしてるだろうか? 学内も歩いてみたいなあ…」

新幹線もスピードアップしました。遠方の方も参加しやすいような支援企画も用意しています。旧知の街に立ち、新旧の狭間を彷徨いながら、記憶を辿り、恩師や旧友と語る時を過ごしませんか。

**7月2日(土)は、ぜひ盛岡へ!!**  
 たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

### <実行委員会からのお願い>

- 1) 七友会では、参加される皆様の交通機関や宿泊先の手配はおこなっておりません。交通機関、ホテル、旅行会社等の情報をお調べになり、各種手配はご自身でおこなってください。
- 2) 今回の30周年記念事業では、過去に人社で教鞭をとられ現在は退官されている先生方を多数、お招きしたいと考えています。しかし、個人情報保護の観点からも学部事務局や同窓会で連絡先を把握している先生方は限られており、広くご案内をお届けすることができないのが現状です。  
 OBの皆さんの中にも、今回の記念事業にぜひ来ていただきたいと思う先生方がいらっしゃると思います。もし、その先生の連絡先をご存知でしたら、先生から直接ご参加の希望を聞いていただき、その結果を事務局へお知らせいただければ大変助かります。  
 また、先生から七友会へ連絡先を知らせてもよいという解が得られましたら、その旨お知らせください。退官された先生方には、4月初旬までに、30周年記念事業の正式のご案内を差し上げる予定です。なお、現職の先生方(人社)にも、学部と調整したのち、ご案内を差し上げようと考えております。  
 ※平成23年2月末現在、参加希望をいただいている先生方のお名前は開催案内<第二部>記念交流会に載せています。福岡や大阪、富山など遠方から御出でいただく先生方もおりますので、縁のある方は、お誘いあわせてご参加いただければ幸いです。

## 記念事業開催案内

### <第一部> 記念講演

前回の20周年記念事業では、退官された先生方に専門的な講義をしていただき、久しぶりに大学生生活を思い出し、その雰囲気を楽しむことができました。

しかし、「人文社会科学部」も30年間に大きく変化しました。「環境科学」や「人間科学」などの課程が生まれ、新しいカリキュラムも増え続けています。そこで今回は、人社の現役かつ新進気鋭の先生方をお招きし、「人社の“今”」を語ってもらおうという企画です。人間科学課程からは、地域情報ネットワーク構築の試み等について、国際文化課程からは、盛んになっている海外留学事情や仏文・仏語教育研究の最近の状況等について、法学・経済課程からは、模擬裁判授業や裁判傍聴等から見える裁判員制度や法学教育の現状等について、そして環境科学課程からは、エコ大学No1に選ばれた岩手大学の取り組みや最新の研究教育等について話していただきます。

地域・社会と結ぶ新しい風となってきている人社の“今”をぜひ感じて下さい。

- 内容: OB対象「人社 新 version 紹介セミナー」(仮)
- 日時: 平成23年7月2日(土) 14:00～16:00
- 会場: マリオス(株)盛岡地域交流センター  
 183、184 会議室  
 (盛岡市盛岡駅前西通2-9-1  
 Tel 019-621-5000)
- 講師: 五味 壮平 准教授(人間科学)  
 中里まき子 准教授(国際文化)  
 藤本 幸二 准教授(法学・経済)  
 笹尾 俊明 准教授(環境科学)
- 定員: 約80名(申込み先着順)
- 会費: 無料

### <第二部> 記念交流会

皆さんに広く参加を募るとともに、退官された先生方も多数ご招待し、「記念交流会」を開催いたします。懐かしい人々やエピソードに囲まれながら、それぞれの「あの頃」と「今」を考えるひとときにしませんか? 同期の仲間やゼミやサークルの先輩・後輩など、お誘い合わせの上、どうぞ奮ってご参加下さい。

- 日時: 平成23年7月2日(土)  
 17:00～20:00
- 会場: ホテルメトロポリタン盛岡 本館  
 (JR盛岡駅隣接)  
 (盛岡市盛岡駅前通1-44  
 Tel 019-625-1211)
- 会費: 8,000円  
 ※ただし申し込み先着150名まで無料  
 <最終締切 5月20日>

※2月末現在、参加希望をいただいている先生方は次のとおりです。(敬称略 50音順)

石川 明彦(自然科学)	大嶋 一泰(法学)	太田 利彦(体育)
奥泉 清(経路)	小野 善康(法学)	金田 諦元(独文)
川島 淳夫(独語)	菊田 紀郎(アジア)	菊地 良夫(仏語)
高野 真澄(法学)	高橋 清(産経)	成田 浩(英語)
樋浦 順(自然科学)	日置孝次郎(比較言語)	深澤 秀男(アジア)
福原 亨一(法学)	細江 達郎(行動科学)	山崎 達彦(行動科学)
横井 修一(行動科学)	臨坂 豊(独語)	渡邊 洋(比較文学)

## 只今、 取材中!!

### <あなたの代わりに観てきます！>

岩手大学人文社会科学部の学び舎を卒業して早や××年。昔歩いたあの通り、あの店、あの街並…、盛岡のあそこはどうなっているだろう…。そんな思い出のスポットの「今」を皆さんの代わりに観てきます。「今」の姿を観てきてほしい場所をリクエストしてください。その際、できるだけ詳しく場所を指定していただくとスタッフも探しやすいと思います。リクエストは記念事業に参加できない方でも構いません。おひとり何回（複数場所）でも構いませんが、リクエストが多数の場合には撮影できないこともありますことを、予めご了承ください。

※リクエストいただき撮影した写真等は、記念品として参加者へ配布予定です。お楽しみに!!

## 参加者 特典!?

### <旅費の一部をキャッシュバック…>

七友会では、今回の30周年記念事業にたくさんの皆様に参加していただき、また遠方に在住の方も気軽に越しいただけるようにと支援策を企画しました。お住まいの地域のブロック別に旅費の補助として、七友会より以下の金額をキャッシュバックいたします。

具体的には、以下の額面の商品券等を、後日登録された住所に送付するというものです。

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| 1) 盛岡市内         | 1,000円  |
| 2) 岩手県内*1)以外    | 2,000円  |
| 3) 東北6県*1)～2)以外 | 5,000円  |
| 4) 1)～3)以外の地域   | 10,000円 |

### <条件>

事前に記念事業への参加を3月31日までに申込みの上、かつ実際に記念交流会に参加（受付）した方に限ります。

キャッシュバックを受けるためには、必ず七友会へ正確な住所の登録をしてください。

## 小さな 交流を 支援

### <同期やゼミの仲間で二次会を!!>

七友会では、日頃より会員相互の交流活動を支援しています。今回の記念交流会にあわせて、同期やクラスやゼミの仲間と二次会を企画したり、地元に戻ったあとで、同じ地域や同じ職場の会員と集まったりする場合には、七友会がお手伝いします。具体的には、メンバーの方々の郵便連絡を代行したり、交流活動にかかった費用の一部を同窓会が補助したりすることができます。

小さな交流会を企画の方、幹事の方などは、事前にご連絡ください。どのような支援ができるか検討の上、お返事いたします。

## 小さな 情報発信 も応援

### <ちょっとだけ、宣伝してもいいですか?>

七友会の会員の方々は、最年長でも50代。職業や職種も様々です。公務員の方、一般企業のベテラン社員、さらには自営業を継いだり、独立開業されている方、主婦をしながら子供や地域を通じて活動している方など、皆さん働き盛りです。

もしかしたら、この機会に自分の仕事や会社、新商品の宣伝、日頃の活動の紹介など「アピールしたい」という方がいらっしゃるかもしれません。それはもちろん、会員相互の情報交流であるとともに、来賓の先生方に、OBが現在どんな仕事や活動をしているのかを知っていただく好機でもあります。七友会では、会員相互の交流として、このような「情報発信」も支援いたします。ご希望には、できるだけお応えしたいと思いますが、時間的な制限もありますので、要請多数の場合には、全てにお応えできないこともあります。ご相談の上、可能な範囲で協力させていただきます。

また、自主的に印刷物や販促物等を持ち込みたいという方も事前にお知らせください。



## 「七友会30周年記念事業」に関する 問い合わせ、連絡先

- ・ E-mail : jim@jinsya.com
- ・ TEL & FAX : 047 - 336 - 3945  
(事務局/七友会関東支部内)
- ・ 郵便物 : 〒020-8550 盛岡市上田3丁目18-34  
岩手大学 人文社会科学部内「七友会」宛

※電話は留守録対応になっております。また郵便物は、学部経由で受け取っていますので、日数がかかります。

できるだけ E-mail か FAX での連絡をおすすめします

七友会30周年記念〈講演・交流会〉参加申し込み書 (FAX・郵送用)

ふりがな 氏名 (男・女)	卒業 専攻	期 (S H コース 課程)	年	月卒 研究室 ゼミ等	封筒にある整理番号 No. _____
住所 〒					
連絡電話番号					
メールアドレス					
・参加希望 <input type="checkbox"/> にチェックを入れてください <input type="checkbox"/> ＜第一部＞講演 <input type="checkbox"/> ＜第二部＞記念交流会					
・メッセージ					
・〈リクエスト〉観てきてほしい場所 (具体的に)					
・そこでの思い出					

※ホームページ (jinsya.com) から申し込みすることができます。

会員の皆さん、連絡先をお知らせ下さい

連絡先は現住所でも実家等家族住所でも構いませんが、確実に連絡のつくところをお願いします。転居等の際には郵便局への届出と共に、事務局へもお知らせ下さい。

なお、寄せられた情報は同窓会活動のみに利用されるもので、事務局で一括管理されています。また、会費については、ほとんどの方が入学時に納められていますので、特に請求されることはありません。同窓会活動は、ほとんど会員のボランティアで運営されています。今後の学部の発展及び同窓会の親睦のための活動に、ぜひ御協力下さい。

※ 友人で会報の届いていない方は、連絡先不明になっている可能性があります。すぐに事務局までお知らせ下さい。

連絡先情報

ふりがな 氏名 (男・女)	卒業 専攻	期 (S H コース 課程)	年	月卒 研究室 ゼミ等	封筒にある整理番号 No. _____
現住所 〒					
(自宅) TEL FAX	携帯	勤務先名等 (可能なかぎり)			
E-mail					
家族等連絡先 〒					

大学短信

- ・平成22年12月に行われた学長選挙で、現学長の藤井克己氏が再選されました。
- ・平成23年1月に行われた人文社会科学部の学部長選挙で、現学部長の牧陽之助氏が再選されました。
- ・昨年10月に、不來方祭と同時開催された「ホームカミングディ」は、諸般の事情により今年(平成23年)は、実施されないことになりました。
- ・「第4回卒業生、修了生と学長との懇談会」は、6月25日(土)札幌市で開催されます。会場は、KKRホテル札幌(札幌駅徒歩5分)です。札幌市及び周辺都市の会員の方には、ご案内が行くと思いますので、お誘い合わせの上、ご参加下さるようお願いいたします。
- ・平成23年3月末で退官される杉浦直先生には、ささやかですが同窓会から記念品を贈ります。長い間、ありがとうございました。

【訂正】

前号(七友会だより第31号)に、人名の誤りがありました。2ページ、評議員会報告の9行目(…新たに佐藤泰氏、尾野澤章子氏の2名が…)と6ページ役員改選の(新任)理事 尾野澤章子が間違っておりまして、お詫びして訂正させていただきます。正しくは 小野澤章子さんです。

●●●●「就職ガイダンス」開催される●●●●

年の瀬迫る12月21日(火)、同窓会後援の「人社就職懇談会」が開催されました。恒例となった(?)中央食堂での立食形式の懇談会には、就職戦線まっただなかの3年生を中心に、内定が決まった4年生、最近卒業したOB生、そして牧学部長、玉副学長、就職担当の内田教授、宮本教授ほか教職員の方も数多く参加し、盛会でした。内定が決まった4年生やOBからは生々しい体験やアドバイスが数多く話され、3年生の諸君は決して楽ではない環境の中で、将来に向けた思いを新たにすると話されたようです。(記 大志田 1期卒)

岩手大学人文社会科学部同窓会

(郵便宛先) 020-8550 盛岡市上田3-18-34  
岩手大学 人文社会科学部内「七友会」宛  
(事務局) Tel(留守録) & Fax: 047-336-3945  
E-mail: jimuj@jinsya.com

ホームページもご覧ください!

http://www.shichiyukai.net/  
http://www.jinsya.com/ [関東支部]